

重要なドキュメントを  
**イメージデータ**で一元化、  
業務効率を向上させるシステム改革。

文書の紛失・誤廃棄をゼロ化し、  
信頼と安心の情報管理システムを確立。

「北海道の発展のために金融機関を」という思いから設立された北海道銀行。個人情報管理の厳格化に伴い、重要なドキュメントの保管スペースの問題や、紛失・誤廃棄リスクの解決に着手。簿書・帳票類をイメージデータ化し、一元管理を行うプロジェクトを進めた。この画期的な取組みの立役者となったのが、東芝ソリューションが提供する文書管理システムである。為替業務用として全店に拡大導入されていたスキャナーを基盤に、システムを短期間で構築。それまで縦割り業務であった窓口、渉外、融資などの文書管理業務において、一台のスキャナーを有効活用することで、本店はもとより支店内・支店間での情報共有を実現。特に各部署で閲覧頻度の高い契約文書など、多様な文書のイメージデータが、PC上でどの支店からでも閲覧が可能となったことは大きなメリットとなった。保管が必要な多量の書類は、紙のまま文書管理センターで堅確に集中保管。その効果は文書管理だけにとどまらず、個人ローン、財務管理など、他システムとの連携でも成果を上げている。新たに確保することができたスペースや、業務効率化により生まれた時間は、顧客サービスの向上にもつながっていく。常に円滑な業務と顧客の安心を目指し、情報管理システムの変革にも積極的に取り組む北海道銀行の挑戦を、東芝ソリューションが全力でサポートする。

東芝ソリューションの文書管理システム

北海道銀行  
総合事務部  
森本 廉 様

北海道銀行  
リスク管理部門長  
取締役専務執行役員  
佐賀山 博 様